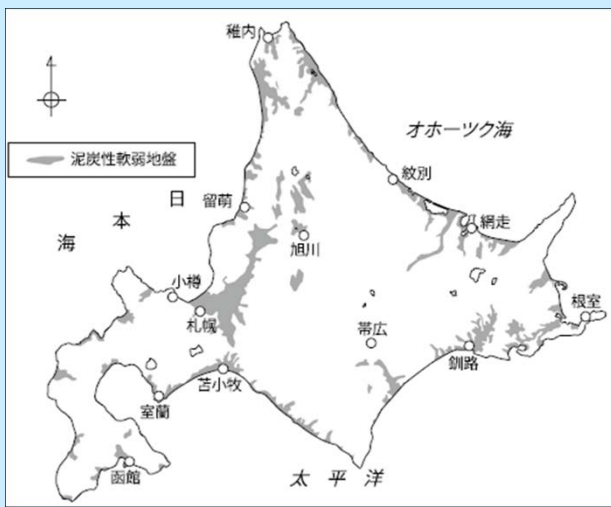


# 泥炭地盤

■泥炭とは、植物が十分に分解されずに堆積して土となったもので、世界中の寒冷地に多くに見られます。

■非常に多くの水を含み軟らかいため、建設工事にともなって大規模な地盤沈下を起こし、扱うのが非常に難しい地盤を形成します。

## 北海道における泥炭地の分布



札幌を含む石狩低地のほか、北海道の主要な都市に泥炭は存在し、社会基盤や都市整備に避けては通れません。



由来となる植物や、分解の度合いによって、見た感じもいろいろです。

## 泥炭の特徴

泥炭は一般に多く水を含みます。重量の9割が水が占めることも少なくありません。このため、水が絞り出されることで非常に大きく圧縮します。



## 泥炭地盤の諸問題と対策

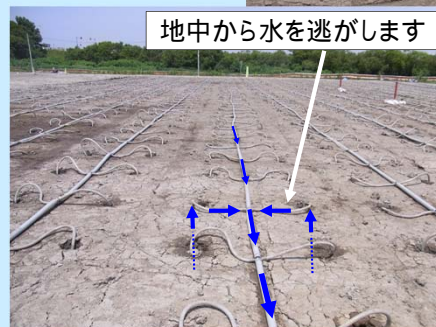


泥炭は、舗装など比較的軽量の構造物の敷設に対しても非常に大きく圧縮し、長期にわたって地表面の沈下を引き起こします。波打った道路はこのように地盤沈下の現れです。

盛土など大規模な構造物に対しては、事前に対策が必要になります。例として、PVD\*による沈下促進などがあります。



この白い帯がドレーン(排水材)



地中から水を逃がします

PVDとは地盤中に鉛直方向に埋められるプラスチック製などの排水材で、これを水みちに、構造物の供用開始前に沈下を終わらせることを目的としています。

\* Prefabricated Vertical Drainの略で、排水材にプラスチックボードを用いる工法は特にプラスチックボードドレーン工法といえます。